

西中だより

平成27年度 No.20
平成27年11月27日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 岩瀬地区書写コンクールに多数入賞! &&&

- 11月10日に開かれた岩瀬教育研究協議会主催の地区書写コンクール審査会において、以下の生徒の作品が入賞しましたので、紹介します。【敬称略】
 - ・(1年) 岩瀬教育研究協議会長賞: 齋藤 茜 ・推薦: 阿部 沙雪、鈴木穂乃花、中本 陽菜
 - ・(2年) 書写研究部長賞: 石塚 光 ・推薦: 松谷 歩佳
 - ・(3年) 書写研究部長賞: 松浦 瑠那 ・推薦: 名子 弥希、小林恵美奈
- 現代は、ワープロやパソコン、シャープペンシルやボールペン等を使い文章を作成したり、文字を書いたりすることが多く、筆を用いる機会がほとんどなくなってしまいました。機会を見つけ気持ちを引き締めて、筆で文字を書くことを大切にしたいものです。

\$ # 夜空を焦がした生徒の想い # \$

- 今年は大松明に近い場所に我が西袋中学校の松明が堂々と立ちました。生徒の書いた「西袋中学校」という文字が数ある松明の中でもひととき目立ちました。冷たい雨が時々強く降り注ぐ天候となりましたが、応援団長の高橋君を中心に生徒達の気合は十分に高まっていました。点火の合図に合わせて、生徒会長の遠藤君が、白装束で梯子を登り、最後の仕事である「松明への点火」を行いました。
- それに呼応して、3年生の応援団が気合の入った応援を披露しました。その迫力に押されたのか、松明も勢いよく燃え始めました。・・・気づくと某テレビ局のアナウンサーが応援団長の高橋君や他の団員にインタビューをしていました。その様子は、過日フジテレビ系のめざましテレビで紹介されました。3年生一人一人の想いが込められた松明の炎が夜空を焦がしながら、未来に向けて旅立ったように感じました。



《 校長のつぶやき 》・・・朝食調べの結果に思う一保健だよりから・・・

- 平成27年11月20日発行の保健だよりを読んで、ご家庭の協力に感謝したい気持ちになると同時に、少し気になることがありました。それは、「昼食以外(朝と夕)に誰かと食事をした回数」の調査項目で、朝と夕の2回と答えた生徒が全体の48.7%、朝または夕の1回と答えた生徒が41.7%、0回と答えた生徒は9.6%でした。このことから、1回目の調査と比較して、一人で食べている生徒が多くなっていることが気にかかります。
- ご飯は、出来る限り複数で食べてほしいものです。一日の出来事を話し合ったり、楽しい話題に笑い合ったりすることが、家族で疲れを癒す心の薬となると思うからです。我が家は、子ども達が独立して親元を離れたせいか、夫婦二人では食事でも会話は少なく、時々昔の慌ただしい食事風景を思い起こしては、懐かしんでいます。子どもが親元を離れる時はあつという間に来ます。どうか、今一緒に時間を大切にしてください。